41 01 08 04 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	道路行政企画調整事務	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4109
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等					
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200001 道路・交通環境整備の推進						

事業概要	計画的に幹線道路網を構築するため、都市計画道路をはじめとした長期未整備道路等の見直しを行い、幹線道路整備を効率的かつ効果的に推進するための幹線道路網を計画する。
目的 ※何のために	限られた財源の中で整備効果を意識しながら、計画的に幹線道路網を構築するため。
対象 ※誰・何を対象に	幹線道路
手段 ※どのように	国の交通センサス等のデータを基に、市内の幹線道路網における交通需要を分析し、将来の幹線道路網を考案し計画策定する。
成果 ※何を求めるか	少子高齢化、将来的な人口減少など社会情勢の変化に対応した道路ネットワークの構築、慢性的な渋滞ポイントの解消に向けた局所整備など、即効性の高い計画策定を行う。
執行体制	□ 市職員　□ 一部委託　■ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	明戸橋建設整備促進基金積立金	127,135
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 幹線道路網計画の策定
- 都市計画道路の見直し
- 利根川新橋建設促進期成同盟会
- 国道１７号（本庄道路）建設促進期成同盟会
-
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画		明戸橋建設整備促進基金積立金	明戸橋建設整備促進基金積立金	明戸橋建設整備促進基金積立金	国道１７号（本庄道路）建設促進	明戸橋建設整備促進基金積立金	
事業費	予算（現額）	175,000	110,000	128,000	0	0	
	決算額	174,367	109,346	127,135	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	102,000	103,000	98,000	0	0	
	一般財源	72,367	6,346	29,135	0	0	
人件費	従事職員数（人）	0.35	0.38	0.38	0.35	0.35	
	人件費相当試算 ※１	2,722,650	2,957,160	2,987,180	2,851,800	2,851,800	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		2,897,017	3,066,506	3,114,315	2,851,800	2,851,800	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	研究活動開催回数	目標値	回	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度に明戸橋建設促進研究会の構成市町と協議し、活動休止を決定した。							
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標２	交通量調査・推計	目標値	式							■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		花園ＩＣ拠点整備、都市計画道路整備など施工中事業があり完成後の実施が適当である。							
		実績値の出所・算出式									
□	成果指標１	幹線道路網計画の策定	目標値	式							■
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		花園ＩＣ拠点整備、都市計画道路整備など施工中事業があり完成後の実施が適当である。							
		実績値の出所・算出式									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 長期未整備事業の見直しとして、平成２８年度に新橋明戸橋の建設について精査し、明戸橋建設促進期成同盟会を社会情勢や財政情勢を踏まえインフラ整備は難しいと判断し明戸橋建設促進研究会に移行した。以降研究活動も休止し、令和２年度明戸橋建設促進基金も廃止する方針としている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 現時点では対象となる事業が限定的であり、成果を評価できる内容ではない。また、予算も小規模であることから成果の評価は行わないこととしている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	交通政策係　新井　一富

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	土地利用を含めた市域内の主要幹線道路の整備が各所で事業中である。これら事業がそれぞれ完成した場合は、交通需要が大きく変化することから、計画策定に適切な時期を見定めることが必要である。
達成状況 及び その効果	幹線道路網の策定に関しては、花園ＩＣ周辺拠点整備や寄居ＳＩＣ、並びに整備中である都市計画道路、県道深谷・嵐山線、県道伊勢崎・深谷線（上武大橋）など、大規模事業の進捗により、今後市内の交通状況は大きく変化する。 これら事業の進捗を注視し、それぞれの完成時期を考慮したうえで幹線道路網計画策定のスケジュールを考案する必要がある。したがって、現時点では適正な時期を見極めることとする。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路行政企画調整事務	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係	管理番号	4109

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

幹線道路網の策定に関しては、花園ＩＣ周辺拠点整備や寄居ＳＩＣ、並びに整備中である都市計画道路、県道深谷・嵐山線、県道伊勢崎・深谷線（上武大橋）など、大規模事業の進捗により、今後市内の交通状況は大きく変化する。
これら事業の進捗を注視し、それぞれの完成時期を考慮したうえで幹線道路網計画を策定することとしたい。

評価者	都市計画課長　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

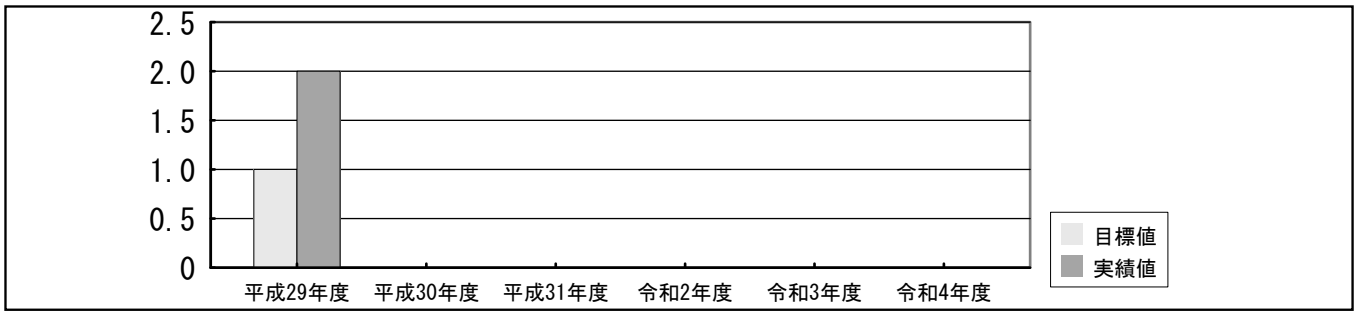
改善・改革案	土地利用を含めた市域内の主要幹線道路の整備が各所で事業中である。これら事業がそれぞれ完成した場合は、交通需要が大きく変化することから、計画策定に適切な時期を見定める必要がある。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

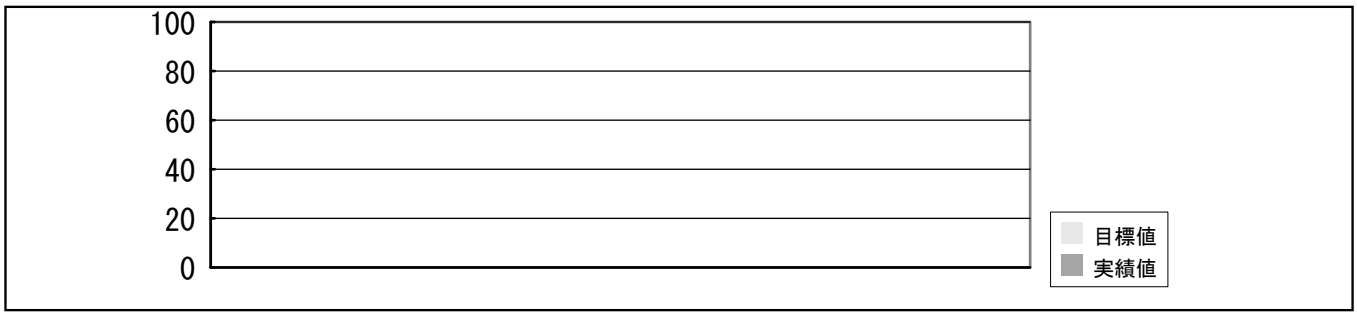
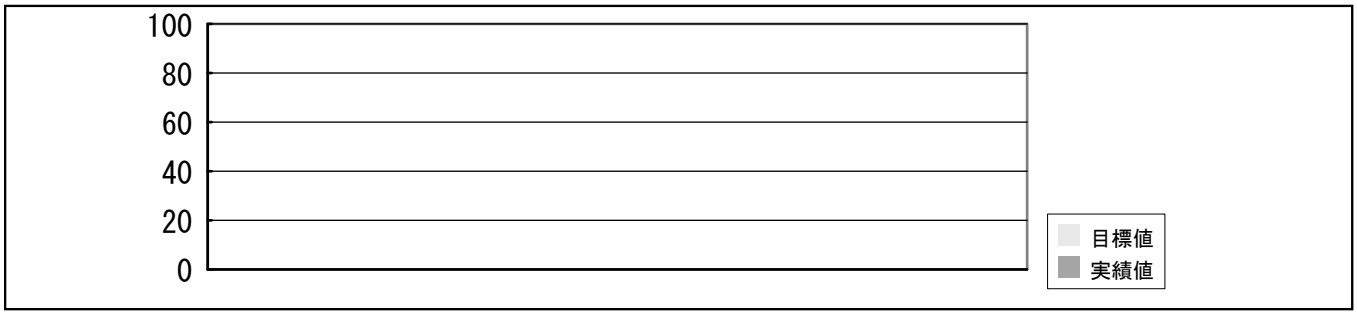
今後の課題	大規模事業の進捗に注視し、計画策定に適切な時期を見定めることが必要である。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	研究活動開催回数



区分		指標名	



区分		指標名